

爆弾 MMA ルール

第1条 階級

試合は次の各号に掲げる 10 階級において行われる。

無差別級	体重無制限
ヘビー級.....	100.0kg 以下
ライトヘビー級...	93.0kg 以下
ミドル級.....	83.9kg 以下
ウェルター級.....	77.1kg 以下
ライト級.....	70.3kg 以下
フェザー級.....	65.8kg 以下
バンタム級.....	61.2kg 以下
フライ級.....	56.7 kg 以下
ストロー級.....	52.2kg 以下

2 競技運営機構は、その裁量の下で、キャッチウェイトの試合を承認することができる。試合が公正、安全で競技上問題がないと判断する場合には、上の区分に関わらず、上限体重を定めることができる。

第2条 競技用具等

選手は、次の第1号に掲げる競技用具を必ず着用しなければならない。また、次の第2号に掲げる競技用具を任意に着用できる。これらすべての競技用具は、試合前の指定の日時に行われる審判員のチェックを受けなければならない。

(1)必ず着用しなければならない競技用具

a.オープンフィンガーグローブ

グローブは 8 オンス相当以上のアンコがついているものとする

b.マウスピース

c.ファウルカップ(男子)

d.膝あて

e.脛あて(布製のもの)

(2)服装

上半身 男性は裸またはラッシュガード

下半身 トランクスまたはスパッツ 但し金具、ポケットのついているものは不可
足は素足として、シューズ等の使用は不可とします。

第3条 試合

試合は1ラウンド3分2ラウンド、インターバル1分で行われる。

両選手の同意があれば変更可能とする。

2. 勝敗

KO、TKO または一本

KO または TKO で勝敗が決しない場合、ジャッジ3名による判定。

3. 禁止行為

a. 頭突き(バッティング)

b. 肘打ち

c. 金的(ローブロー)

d. 目突き(サミング)

e. 後頭部への攻撃

f. 関節蹴り

g. グラウンドでの顔面への蹴り、膝による攻撃

h. 腰より高い位置からのバスター 但しグラウンドの状態から相手選手を持ち上げた場合はブレイクとする場合がある

i. ヒールホールド 但し外掛け自体は禁止しない

j. レフェリーへの侮辱的行為

k. インターバルの遅延行為(セコンドを含む)

l. 暴言悪態などのマナー違反 (セコンドを含む)

m. 装具不備、1分以内に準備できなければ減点 1

4. その他

グラウンドでは 5 秒間、攻防が無ければ「アクション」の声をかけることができる。10 秒以上、攻防が無ければレフリーはブレイクを命ずることができる。

関節技、締め技が入っていることが明らかでないとき、ダメージが無いと見えるパウンドを打っているときは攻防が無いと判断する場合があります。

体重の規定超過の場合は 1kg 以下の場合は 1 点減点、1kg 以上の超過の場合は両選手協議の上、2 点減点またはエキシビション、没収試合とすることができる。